

# 令和8年度 環境ISO責任者及び 代表者研修

2026年4月

文京地区 総括環境責任者





# ISO14001とは

---

ISOとは、工業標準の策定を目的とする国際機関で、各国の標準化機関の連合体、International Organization for Standardizationの略。ISO14001という規格では、あらゆる組織が自発的に、環境関連法規の遵守の下、自ら汚染の予防を含めた環境目標を定め、それを組織的に実現し、さらに継続的な改善を行う仕組み（環境管理システム）を構築し運営することを求めている。

※ISO9001は、品質管理及び品質保証のための国際標準規格であり、本学医学部附属病院も取得している。

# なぜ教育機関が環境ISOを取るのか？

- ☑ イメージ戦略（企業イメージ向上、第三者認証の信頼性向上）
- ☑ コスト削減（省エネ効率化、廃棄物削減）
- ☑ 市場での利益（入学生確保、開拓）
- ☑ 顧客（学生・保護者）の信頼（信頼性向上）
- ☑ 職員のメリット（作業環境改善、環境教育向上）
- ☑ 環境上の利益（環境負荷低減、環境質向上）
- ☑ 社会的責任（存在価値、組織力向上）



# PDCAサイクルについて

## 環境管理システム

(EMS: Environmental Management System) はPDCAサイクルを採用し、継続的改善を要求。

福井大学はEMSに基づき、継続的にエコキャンパス作りに取り組んでいる。



# 部局環境責任者およびユニット代表者の職務

環境マネジメントマニュアルより（P.14参照）

部局環境責任者	<ul style="list-style-type: none"><li>① 総括環境責任者と協力し、各部局における環境推進活動の支援</li><li>② 各部局における実施計画、手順順守状況等の監視測定に対する支援</li><li>③ 各部局における環境教育実施サポート</li><li>④ 総括環境責任者との連絡・報告・相談窓口</li></ul>
ユニット代表者	<ul style="list-style-type: none"><li>① ユニットにおける環境保全・推進活動の実施、及び報告</li><li>② 部局環境責任者からの指示に従って、ユニットにおける実施計画、手順順守状況等の監視測定の実施</li><li>③ ユニットにおける構成員への環境教育の実施</li><li>④ その他実施計画運用上の各ユニットの役割への対応</li></ul>



# 本学の環境方針

---



## ～ クリーンなキャンパスと地球のために ～

1. 本学における教育・研究及びそれに伴うすべての活動から発生する地球環境に対する負荷の低減に努め、更に、それを通じて心身の健康を図る。
2. 地球環境や地域環境の保全・改善のための教育・研究を継続的に推進するとともに、地域社会との連携による環境保全・改善プログラムに積極的に参画する。
3. 環境関連法規、条例、協定、及び自主基準の要求事項を順守する。
4. この環境方針を達成するために、環境目標を設定し、すべての利害関係者が互いに協力し合いこれらの達成を図る。
5. 環境マネジメントシステムを確立するとともに、環境監査を実施し、これを定期的に見直し、継続的な改善を図る。

◎本学の環境方針は、環境マネジメントマニュアルP.8及びホームページに掲載されています。

# 本学の環境目標

## ●地球環境負荷の低減

エネルギーの抑制（電力・水・紙・重油など）

## ●教育・研究を通じた環境活動

環境教育・研究の充実、環境汚染防止技術の開発

## ●関連法規・自主基準の要求事項の遵守

環境汚染の防止、産業廃棄物の適正管理・適正処理など

## ●地域社会との連携

環境保全・改善プログラムへの参画、学外への情報発信

## ●その他の環境活動

植栽の適正管理、学内リサイクルなど




◎本学の環境目標は、環境マネジメントマニュアルP.25に掲載されています。

# 福大ビジョン2040

福大ビジョン2040では、未来像を具現化するためのミッションが掲げられています。その中には、SDGSやカーボンニュートラルなど、環境IS0活動と関連のある事項も含まれています。

1. 教育	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 深い実践的教養を備える卓越高度専門職業人の育成</li><li>■ 学生のキャンパスライフの質向上</li><li>■ 学びの母港構築による人生100年時代へ対応</li></ul>
2. 研究	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 福井に根ざした人類知の創出</li><li>■ 世界に通じる研究力とイノベーション創出</li><li>■ 若手研究者の育成の実質化</li></ul>
3. 国際化	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 世界と伍する教育研究環境の構築</li><li>■ 「福井と世界を結ぶゲートウェイ」の実現</li></ul>
4. 地域共創	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 地域活性化の中核拠点としての機能・役割の一層の強化</li><li>■ 県内高校からの志願者増と卒業後の地元定着化</li></ul>
5. SDGs	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 持続可能な社会の実現への寄与</li></ul>
6. カーボンニュートラル	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 地域のゼロカーボン・キャンパスのカーボンニュートラルの実現</li><li>■ グリーン人材の育成</li></ul>
7. 経営マネジメント	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 適切な学部・大学院の体制・規模の確保</li><li>■ 総力的大学経営の実現</li><li>■ ダイバーシティの推進</li></ul>



# ユニットの主な環境保全活動

---

本学の環境目標を達成するために、各ユニットに求められる主な活動内容は以下の5項目です。

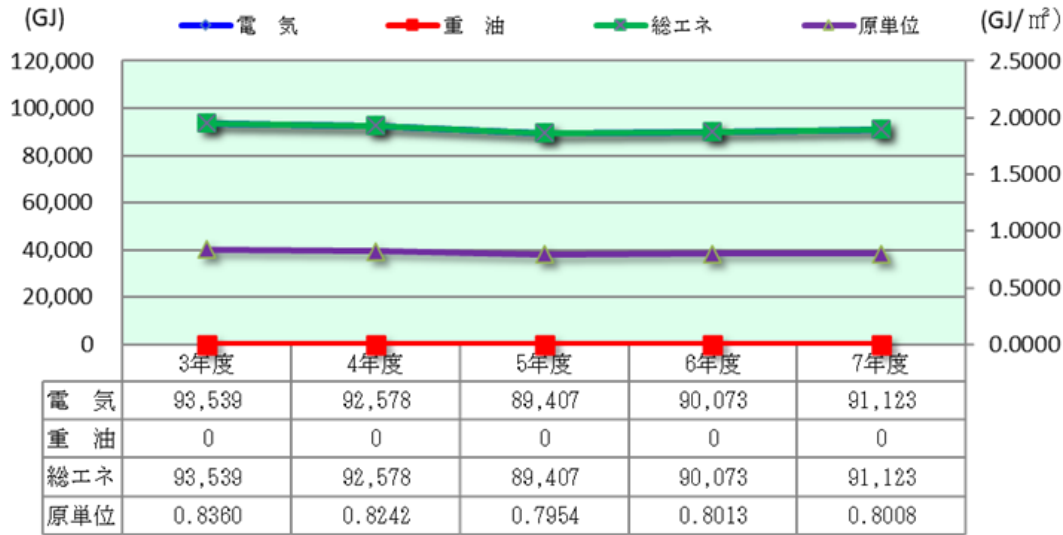
- ① 法規制の順守
- ② 節電・節水・紙使用量の削減
- ③ ゴミの分別回収と排出量削減
- ④ 実験廃液・生活排水の適正管理・処理
- ⑤ 環境保全に関する教育活動

# ①法規制の順守

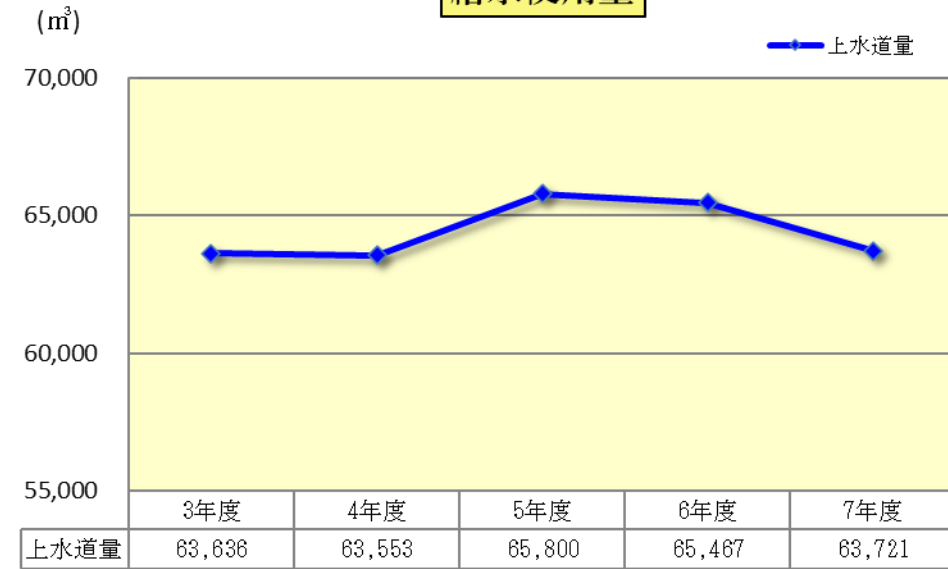
環境配慮促進法	環境配慮等の状況を公表（環境報告書の作成・公表）
省エネ法	エネルギー管理標準の設定と管理，使用状況の報告，排出抑制計画の作成・提出等
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス排出量の削減に協力，排出抑制等に関する計画書作成・提出等
PRTR法	化学物質排出量・移動量の把握及び届出
水質汚濁防止法	特定有害物質使用特定施設の届出，実験廃液の完全回収
騒音規制法・振動規制法	原動機等
毒物及び劇物取締法・消防法	薬品類・廃液の適正管理
下水道法・条例	実験廃液・生活排水
高圧ガス保安法	超低温施設・ボンベ
フロン排出抑制法	冷蔵庫・冷凍庫等
廃棄物処理法	有害廃棄物の適正管理・適正処理
健康増進法	受動喫煙の防止等 etc.

# ②節電・節水・紙使用量の削減 (過去5年間の推移)

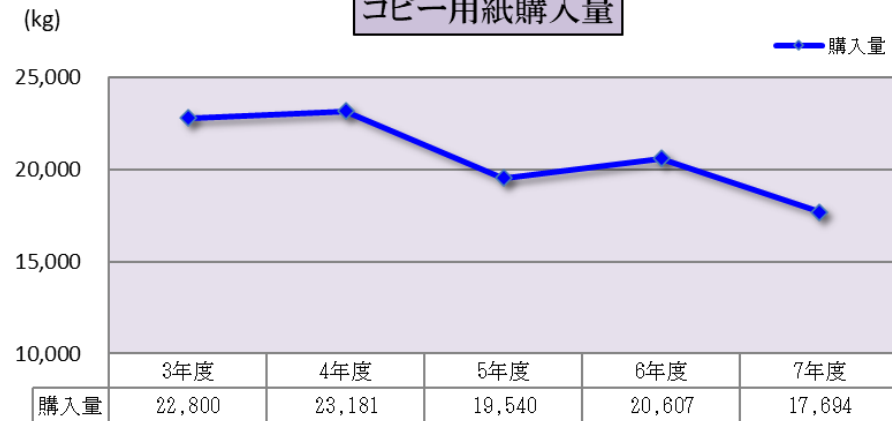
エネルギー使用量



給水使用量



コピー用紙購入量



## ～ 令和7年度の状況～

	総エネルギー使用量	給水使用量	コピー用紙購入量
前年度比	-0.1%	-2.7%	-14.1%

令和7年度は、前年度と比べてコピー用紙・水の使用量は減少しました。総エネルギーは、ほぼ横ばいですが、引き続き各構成員に節電を意識していただきたいと考えています。

※附属学校園含む

# ～削減するための主なポイント～

## ■総エネルギー使用量の削減

～前年比1%の削減を目標に！～



夏28℃  
冬20℃を目安に  
必要な時だけ使用



冷暖房機の  
フィルターは  
こまめに清掃しましょう



クールビズ  
ウォームビズを  
心がけましょう



扇風機を利用して  
冷たい空気  
暖まった空気を  
循環させましょう



待機モード  
(省エネモード)を  
活用しましょう



カーテンや  
ブラインドで  
熱の出入りを防ぎましょう



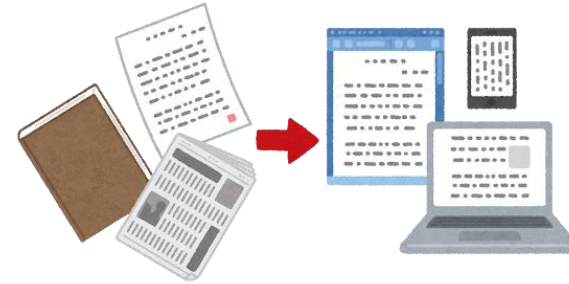
屋休み中や  
人のいない部屋は  
こまめに消灯しましょう

ドアや窓の  
開閉は  
少なくしましょう



## ■紙使用量の削減

～前年度使用量以下を目標に！～



ペーパーレスを心がけましょう

## ■水使用量の削減

～前年度使用量以下を目標に！～



こまめに蛇口をとめ  
節水を心がけましょう

不要な水は出しっ放  
しにしない

水使用量の多い実験  
や活動を行う際は、  
できる範囲で節水に  
努める

# ③ ゴミの分別回収と排出量削減

## ◎正しい分別をしましょう



学内の主要なごみ箱の色は、ごみの種類を認識しやすいよう色分けされています。ごみは分別してごみ箱に捨てましょう。また各ユニットでごみ箱を買い替える際は、可能な限り色を合わせて購入してください。

**【プラスチック製容器包装】**  
お菓子の袋、弁当容器やトレーは、汚れていてもすべてプラスチック製容器包装です。

### 燃やせるごみ

- 生ゴミ
- 紙くず
- 布類
- 木くず

### 燃やせないごみ

- 金属類
- ガラス・陶器類
- 文具・日用品類
- スプレー缶
- カードリッジポンプ

### カン類

- アルミ缶、スチール缶類

◎ご注意ください！

### ビン類

- 飲料ビン、食料ビン、調味料ビン類

◎ご注意ください！

### ペットボトル

- 清涼飲料水、しょうゆ、調味料などのペットボトル類

◎一緒に入れないでください！

### お菓子袋、お弁当パック、カップ、ラベル、トレイ類

- プラスチック製容器包装

◎ご注意ください！

### ③ ゴミの分別回収と排出量削減

#### ◎ 正しく廃棄しましょう

ごみは決められた廃棄方法に従って必ず決められた場所に廃棄しましょう。

誤った場所や誤った方法で廃棄されたごみが学内で散見されています。

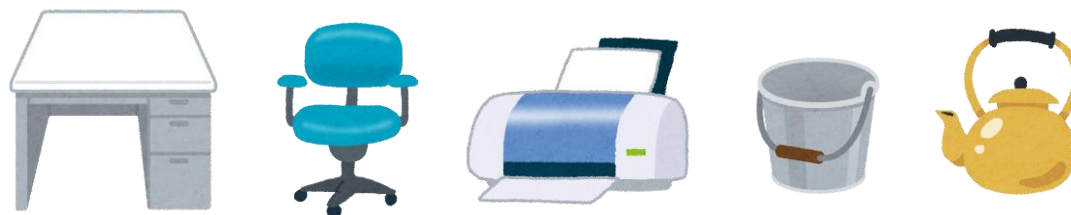
★正しい分別・廃棄方法はこちら↓  
<http://ems.ou.u-fukui.ac.jp/iso/d-19.html>

〈誤った場所に廃棄されている例〉



#### ◎ 学内リサイクルを利用しましょう

廃棄する前に、まだ使えるものはまず学内リサイクルへ出品しましょう。廃棄物排出量の削減につながります。



# ④ 実験廃液・生活排水の適正管理・処理

## ■ 実験廃棄物・廃液回収



学内から排出される実験廃棄物は、実験廃棄物の貯留・廃棄マニュアルに則り、適正に管理および処理されています。

※実験廃棄物の貯留・廃棄マニュアルは実験廃棄物及び廃水等取扱作業部会のHPに掲載されています。

<http://ems.ou.u-fukui.ac.jp/bunkyo/haikibutsu.html>

## ■ 実験廃棄物処理方法オンデマンド説明会

### 実験廃棄物処理方法オンデマンド説明会

1. 趣旨説明
2. 文京キャンパスの排水検査体制について
3. 実験廃液の色区分について
4. 薬品等を飛散または漏えいした際の緊急処理について
5. 実験廃棄物等に関する法規制について
6. 実験廃棄物の処理方法・分別方法  
(含 ディスポ注射針、小中学校)
7. 実験廃棄物の保管方法  
(実験廃棄物置場の取扱方法)
8. 個別相談およびアンケートの記入 (受講確認)

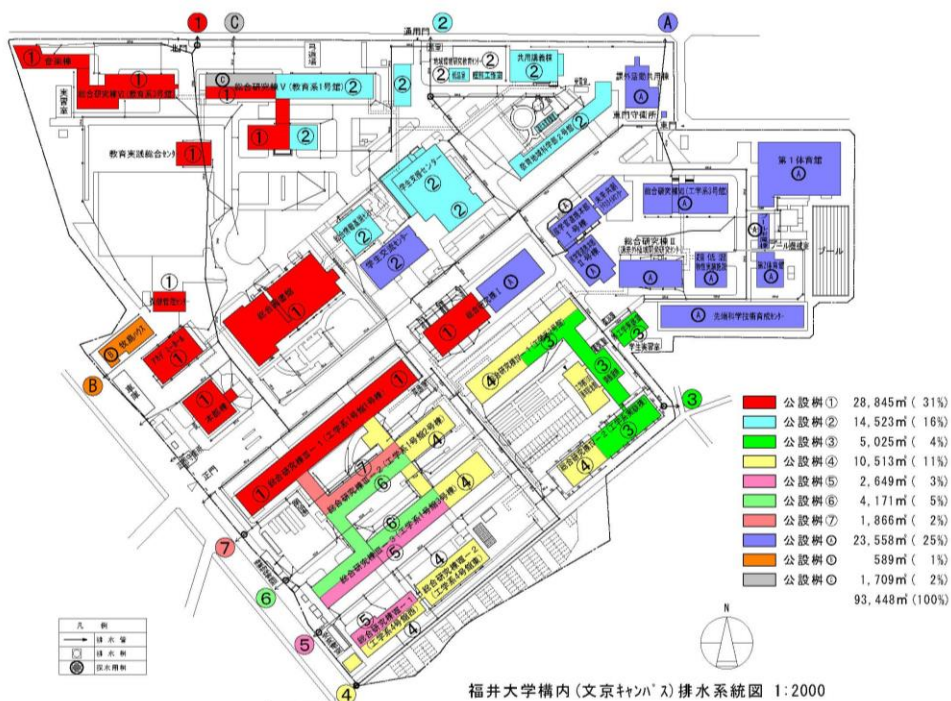
廃棄物及び廃水等取扱作業部会

薬品を使用し、実験廃棄物（廃液、廃試薬など）を廃棄する可能性のある教職員及び学生を対象に、毎年オンデマンド説明会を開催しています。例年、関係する100名以上の教職員・学生が参加し、実験廃棄物の保管・廃棄方法、緊急時の対応等を学んでいます。

## ■排水チェック

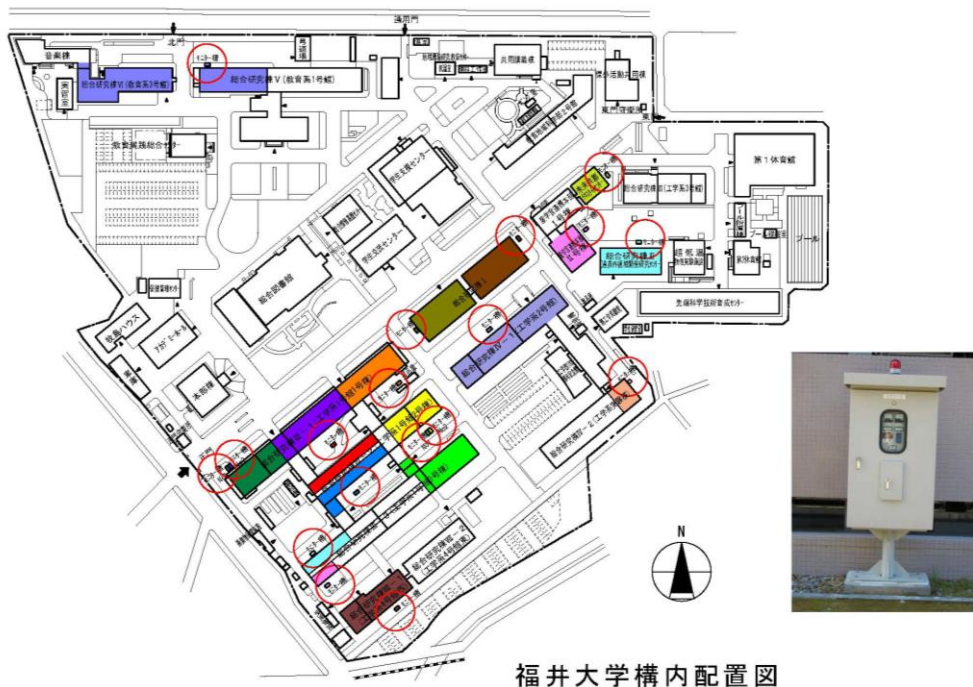
環境汚染予防及び法令順守のため、キャンパス内の排水は常にチェックされています。

### 文京キャンパス 構内排水系統



構内の排水は10系統に分かれています。

### 文京キャンパス pHモニタ槽



17箇所のpHモニタ槽にて、24時間監視しています。

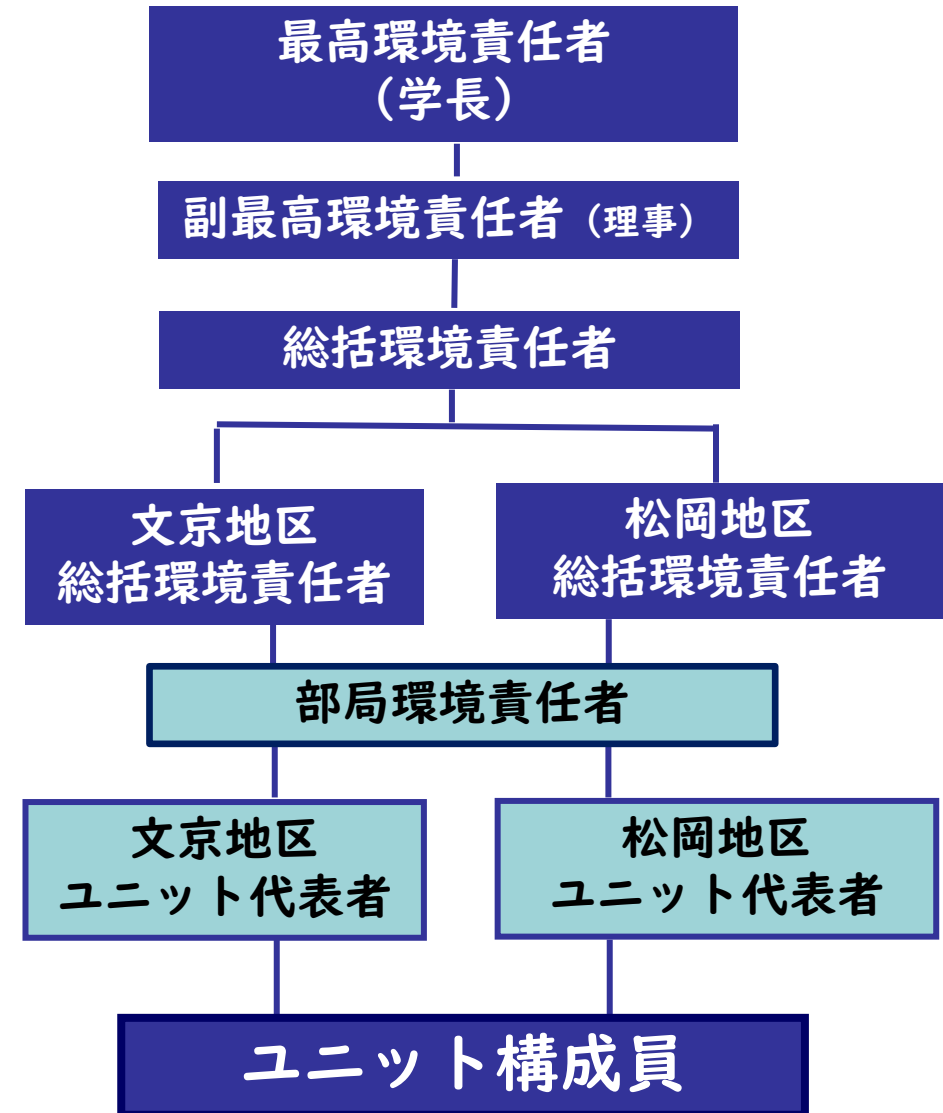
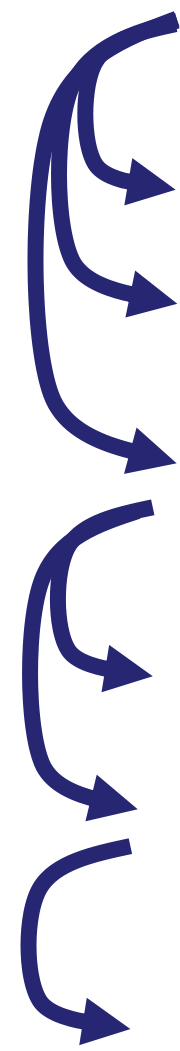
# ⑤ 環境保全に関する教育活動

## 教育研修

●環境ISOトップセミナー  
(必要時)

●責任者及び代表者研修(本研修)  
実施者：総括環境責任者  
対象者：部局環境責任者  
          ユニット代表者

●ユニット内研修(後日)  
実施者：ユニット代表者  
対象者：ユニット構成員



# ユニットの環境活動の自己評価 (令和7年度)

〈ユニット数〉39ユニット

総エネルギー	紙	水道水	研究・教育	研究・教育
前年比1%の削減	前年度使用量以下に削減	前年度使用量以下に削減	環境研究の推進	環境教育の推進
選択ユニット数16 	選択ユニット数30 	選択ユニット数10 	選択ユニット数1 	選択ユニット数5 
<ul style="list-style-type: none"> <li>達成6</li> <li>ほぼ達成10</li> <li>未達成0</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成17</li> <li>ほぼ達成10</li> <li>未達成3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成8</li> <li>ほぼ達成2</li> <li>未達成0</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成0</li> <li>ほぼ達成1</li> <li>未達成0</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成3</li> <li>ほぼ達成2</li> <li>未達成0</li> </ul>

※複数の目標に取り組んだユニットあり

法令順守	学内環境活動
産業廃棄物の適正管理及び適正処理、排水基準の順守	環境活動の推進 (学内リサイクル)
選択ユニット数6 	選択ユニット数16 
<ul style="list-style-type: none"> <li>達成6</li> <li>ほぼ達成0</li> <li>未達成0</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成10</li> <li>ほぼ達成5</li> <li>未達成1</li> </ul>

令和7年度のユニットの環境活動は、紙の削減に取り組んだユニットが最も多く、そのほとんどが達成もしくはほぼ達成との自己評価でした。ただ未達成が3ユニットありましたが、打ち合わせ資料や契約書類の増加など、やむを得ない状況を確認しました。その他、ごみの分別や廃棄物の再利用に取り組んだユニットが5ユニットあり、いずれも概ね目標達成との自己評価でした。

# マニュアル改定

## ◆ 環境マネジメントマニュアルの改定

### <第13版の主な改定点>

- ユニットの変更
- 著しい環境側面一覧の一部変更
- 関連法規の文言の一部削除
- 利害関係者のニーズに関する文言の追加
- 現状に合わせた文言の追加及び修正  
etc.

マニュアルの最後のページに改定履歴があり、改定内容をまとめているので、ご確認ください。



(付表) 制定/改定履歴

版数	制定/改定理由	内 容	改定 ページ	発行日/ 改定日
第1版制定				2015年 8月31日
2	第2版の改定履歴に記す			2016年 6月13日
3	第3版の改定履歴に記す			2017年 4月1日
4	第4版の改定履歴に記す			2018年 6月15日
5	第5版の改定履歴に記す			2019年 6月6日
6	第6版の改定履歴に記す			2020年 6月19日
7	第7版の改定履歴に記す			2020年 9月10日
8	第8版の改定履歴に記す			2021年 5月1日
9	第9版の改定履歴に記す			2022年 6月6日
10	第10版の改定履歴に記す			2023年 9月26日
11	第11版の改定履歴に記す			2024年 4月1日
12	第12版の改定履歴に記す			2025年 4月1日
13	利害関係者のニーズ及び期待の一部追加	・教職員に「災害への備え」を追加 ・学生のニーズに「災害への備え」を追加	4	2025年 4月1日
	文言の修正及び削除	・職務の伝達の手段を修正	9	
	ユニットの変更	・「国際地域学部」→「国際地域学部・国際地域マネジメント研究科」 ・「放射性同位元素実験部門」→削除	11	
	著しい環境側面一覧の修正	・環境影響欄の「環境保全（左記以外）」を削除し、「環境教育」に統一	20	
	文言の修正	・「内部監査チェックリスト及び判定結果」→「内部監査チェックリスト」	37	
	関連法規の削除	「浄化槽法」に関する文言の削除	42 53	
	文言の削除	・内容重複のため(1)を削除	49	
	文言の修正	・分析及び評価結果の報告に関する文言を修正	50	

# マニュアル改定

## ◆ 環境マネジメントマニュアルの管理



環境マネジメントマニュアルは、通常年1回（4月）改定されます。

○最新版（第13版）データは、施設と環境ホームページより取得してください。

○マニュアルは必要な時にすぐに閲覧が可能な状態を維持してください。

○保管は電子媒体を推奨します。（紙媒体も可）

○旧版は必ず廃棄し、最新版に差し替えてください。

# 手順書・法規制リスト・様式

手順書・法規制リスト・様式はホームページに最新版を掲載しています。  
ユニットが関係するものを必要時に随時ホームページでご確認ください。

## 手順書

- ・学内リサイクルに関する手順書
- ・廃棄物の排出に関する手順書
- ・紙の使用量削減に関する手順書
- ・冷暖房の実施に関する手順書 など

## 様式

- ・実施計画書
- ・実施報告書
- ・教育研修実施報告書 など

## 法規制リスト

- ・廃棄物処理法
- ・下水道法 など

施設と環境ホーム  
ページより

### 手順書(学内限定)

	区分	文書管理番号	手順書名	適用範囲	
				文京	松岡
通常	水・土系	FU810-T1	厨房施設の汚水管理に関する手順書	○	○
		FU810-T2	濃厚実験廃液の排出に関する手順書	※1	○
	廃棄物系	FU810-T3	廃棄物の排出に関する手順書	○	○
		FU810-T5	使用済み自動車の引き渡しに関する手順書	○	
	資源系	FU810-T6	エネルギーの使用量削減に関する手順書	○	○
		FU810-T7	紙の使用量削減に関する手順書	○	○
		FU810-T8	実験器材の洗浄に関する手順書		○
		FU810-T9	冷暖房の実施に関する手順書	○	○
		FU810-T10	学内リサイクルに関する手順書	○	○
	その他	FU810-T11	環境情報の広報に関する手順書	○	○
非常	大気系	FU820-T1	ボイラーの火災・爆発時の対応手順書		○
		FU820-T2	実験排水のpH値中和手順書	○	○
	水・土系	FU820-T4	地下タンクの重油漏洩時の対応手順書		○
		FU820-T5	重油・灯油漏洩時の対応手順書	○	○
	薬品・危険物・ガス系	FU820-T6	空調機のフロン漏洩時の対応手順書	○	○
		FU820-T7	ボンベ爆発時の対応手順書	○	○
		FU820-T8	発電機の火災・爆発時の対応手順書		○
		FU820-T9	冷凍機の冷媒ガス漏洩時の対応手順書		○
		FU820-T10	屋内貯蔵危険物の漏洩時の対応手順書		○

① 改定履歴は [こちら](#) をご覧ください。

- ※1 福井大学文京地区廃棄物及び廃水等取扱要項に従う
- ※2 他、福井大学文京地区廃棄物及び廃水等取扱規程に従う
- ※3 他、福井大学松岡地区廃棄物及び廃水等取扱規程に従う

# 今後のスケジュール

時期	部局環境責任者	ユニット代表者
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マニュアルの保管状況の報告</li> <li>●ユニットから提出された「実施計画書」の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マニュアルの保管状況の報告</li> <li>●ユニット内研修の実施</li> <li>●「教育研修実施報告書」および「実施計画書」の提出</li> <li>※ 4月30日（木）締め切り</li> </ul>
7月～8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内部監査の対応</li> <li>※対象部局のみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内部監査の対応</li> <li>※対象ユニットのみ</li> </ul>
9月～10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境影響調査の回答</li> <li>※全ユニット、構成員</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ユニットから提出された「実施報告書」（中間報告）の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「実施報告書」（中間報告）の提出</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部審査の対応</li> <li>※対象部局のみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部審査の対応</li> <li>※対象ユニットのみ</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ユニットから提出された「実施報告書」（年度末報告）の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「実施報告書」（年度末報告）の提出</li> </ul>

# お願い① ( 部局環境責任者 ユニット代表者 対象 )

## ① マニュアルの保管状況の報告

最新版マニュアル（第13版）の保存及び旧版の廃棄について、スプレッドシートにてご報告ください。スプレッドシートのURLは、後日お知らせします。



保 存

第13版以外は  
すべて旧版



廃 棄

# お願い② (ユニット代表者対象)

FU720-2

**教育研修実施報告書**

		作成日	年 月 日
研修名			研修実施責任者
実施日時	年 月 日 : ~ :	場 所	
対象者 (参加者)			
実施方法			
実施内容			
欠席者への対応	<input type="checkbox"/> 欠席者あり [ 対応: <input type="checkbox"/> 欠席者なし ]		
研修実施責任者 評価	参加者の理解	<input type="checkbox"/> 理解している	<input type="checkbox"/> ほぼ理解している <input type="checkbox"/> 不十分

※修了証、免許がある場合、そのコピーを添付すること

## ② 教育研修実施報告書の提出

これは、**ユニット内研修**の実施報告書です。  
赤枠内を記入してください。

- ・責任者及び代表者研修の内容をユニット構成員に教育（伝達）し、この報告書を作成してください。
- ・欠席者がいた場合には、欠席者への対応も必ずご記入ください。
- ・「研修実施責任者」はユニット代表者もしくは研修の実施者としてください。
- ・研修実施責任者の評価には、研修の有効性、参加者の反応、要望等をご記入ください。

※様式は、後日メールにて掲載URLをお知らせします。

※年度の途中に採用された構成員には、随時教育研修を実施してください。

(その際、報告書の提出は必要ありません)





# ホームページのご案内

大学ホームページ → 大学案内 → 施設と環境への取り組み → 環境ISO

(<https://ems.ou.u-fukui.ac.jp/>)

福井大学 施設と環境  
Facility and Environment

グローバルでローカル  
グローバルな視点でサステナブルキャンパスを構築

トップページ プロフィール 施設企画課 環境整備課 環境ISO アクセスマップ お問い合わせ サイトマップ

環境報告書  
環境ISO(14001)認証  
環境マネジメントマニュアル  
エネルギー管理標準  
省エネルギー対策  
エネルギーデータ(学内版)  
地球温暖化対策推進計画  
学内リサイクル  
ゴミの分別・廃棄物処理方法  
環境教育

内部監査  
環境影響調査(学内版)  
学生の環境活動  
学内環境美化運動  
エコキヤップ運動  
トップセミナー・シンポジウム  
環境に関する受賞・表彰  
安全衛生コンクダンス(学内版)

キャンパス電力使用量  
13:20  
44%  
13:00-13:30

最新版はここでチェック！

●環境マネジメントマニュアル関連  
環境マネジメントマニュアル第13  
版、様式、法規制リスト、手順書

●エネルギーデータ関連

●学内リサイクル関連

●ごみ関連  
ごみの分別・廃棄方法

●環境教育関連  
本日の研修動画・PDF資料

●電力の見える化  
電力量監視サイト(文京地区)

以上で研修は終わりです。  
お忙しい中、ご視聴いただき  
ありがとうございました。

